



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成19年2月8日

上場会社名 株式会社日本触媒

(URL <http://www.shokubai.co.jp/>)

(コード番号: 4114 東・大証第1部)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 近藤忠夫

責任者役職・氏名 総務部長 内海勝議

TEL: (06) 6223-9111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (内容) 法人税等の計上は、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。  
 ・引当金の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 (内容) 連結(新規)0社(除外)0社 持分法(新規)1社(除外)0社

(百万円未満は四捨五入にて表示しております。)

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日~平成18年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	195,010	14.9	14,070	△23.5	16,594	△19.0	10,785	△19.8
18年3月期第3四半期	169,781	19.2	18,381	17.2	20,487	17.3	13,443	11.8
(参考) 18年3月期	232,441	17.9	23,228	4.6	26,148	10.3	16,257	3.5

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	57	63	—	—
18年3月期第3四半期	70	90	—	—
(参考) 18年3月期	85	89	—	—

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	314,228	175,659	54.6	921 18
18年3月期第3四半期	287,621	160,850	55.9	851 25
(参考) 18年3月期	291,564	164,631	56.5	875 00

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	6,492	△17,936	7,187	15,650
18年3月期第3四半期	8,838	△12,405	180	21,942
(参考) 18年3月期	17,468	△20,663	△2,562	19,856

3. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

平成19年3月期中間決算発表時(平成18年11月8日)の予想を変更しておりません。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	265,000	22,000	14,200

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期)76円30銭

[業績予想に関する定性的情報等]

※上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## I 当第3四半期の経営成績

当第3四半期におけるわが国経済は、原油価格の動向などの不安定要因はあるものの、企業収益の改善や設備投資の増加などにより、景気は緩やかながらも拡大基調で推移しました。

化学工業界におきましては、原料価格の高騰や国際市況の動向など、先行きが不透明ななかで推移しました。

### 全体の状況

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増 減		前 期
			(金額)	(伸び率)	
売上高	169,781	195,010	25,230	14.9%	232,441
営業利益	18,381	14,070	△4,311	△23.5%	23,228
経常利益	20,487	16,594	△3,893	△19.0%	26,148
四半期(当期)純利益	13,443	10,785	△2,658	△19.8%	16,257
1株当たり四半期(当期)純利益	70.90円	57.63円	△13.27円	△18.7%	85.89円
ROA (総資産経常利益率)	10.2%	7.3%	—	△2.9ポイント	9.7%
ROE (自己資本当期純利益率)	11.7%	8.6%	—	△3.1ポイント	10.5%
為替(\$、EUR)	\$=¥112.11 EUR=¥136.88	\$=¥116.19 EUR=¥147.98		¥4.08 ¥11.10	\$=¥113.35 EUR=¥137.85
ナフサ価格	41,100円/kl	50,300円/kl		9,200円/kl	42,400円/kl

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期の売上高は、基礎化学品の一部の製品で市況が弱含みに推移したものの、機能性化学品を中心とした販売数量の増加や、原料価格の高騰を反映した販売価格は是正などにより、前第3四半期に比べて252億3千万円増収(14.9%)の1,950億1千万円となりました。

利益面につきましては、原料価格の高騰が続くなか、販売数量の拡大や販売価格の是正に努めたものの、営業利益は、前第3四半期に比べて43億1千1百万円減益(△23.5%)の140億7千万円となりました。

経常利益は、営業外損益が持分法による投資利益の増加や固定資産廃棄・撤去費用の減少などが金融収支の悪化を上回ったことにより、前第3四半期に比べて4億1千8百万円改善したものの、営業利益の減益が大きかったため、38億9千3百万円減益(△19.0%)の165億9千4百万円となりました。四半期純利益も、前第3四半期に比べて26億5千8百万円減益(△19.8%)の107億8千5百万円となりました。

### セグメント別の概況

#### ◎事業の種類別

##### (基礎化学品事業)

アクリル酸およびアクリル酸エステルは、市況が弱含みに推移したものの、需要が堅調に推移したことにより、増収となりました。

酸化エチレン、エタノールアミンおよび高級アルコール(商品名“ソフタノール”)は、需要が堅調に推移し、また、販売価格の是正も進んだことにより、増収となりました。

エチレングリコールは、市況が堅調に推移したものの、タイトな在庫状況のなかで販売数量を減少させたため、減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前第3四半期に比べて4.8%増加し、727億7千1百万円となりました。

営業利益は、販売価格の是正に努めたものの、一部の製品で、市況が弱含みに推移したことや原料価格の高騰による影響が大きかったため、前第3四半期に比べて57.3%減少し、39億7千9百万円となりました。

##### (機能性化学品事業)

高吸水性樹脂は、世界的に需要が拡大するなかで、引き続き販売数量が増加し、また販売価格の是正も進んだことにより、増収となりました。

無水マレイン酸、粘接着剤・塗料用樹脂および粘着加工品は、国内の需要が順調に推移したことにより、増収となりました。

特殊エステルおよびコンクリート混和剤用ポリマーは、国内外の需要が順調に推移したことにより、増収となりました。

樹脂改質剤および洗剤原料は、海外の需要が順調に推移したことにより、増収となりました。

電子情報材料は、新規製品の上市も含め順調に推移したことにより、増収となりました。

よう素化合物、医薬中間原料および不飽和ポリエステル樹脂は、ほぼ前第3四半期並みに推移しました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前第3四半期に比べて21.5%増加し、1,029億1千4百万円となりました。

営業利益は、原料価格の高騰や設備の増強に伴う固定費の増加があったものの、販売数量の増加や一部製品の販売価格の是正により、前第3四半期に比べて12.7%増加し、80億1千2百万円となりました。

(環境・触媒事業)

自動車触媒は、貴金属価格の高騰をうけて販売価格が上昇したことにより、増収となりました。

排水処理装置および触媒は、海外へ大型装置を販売したことにより、増収となりました。

プロセス触媒は、取替需要が減少したため、減収となりました。

脱硝触媒、排ガス処理装置および触媒は、ほぼ前第3四半期並みに推移しました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前第3四半期に比べて23.3%増加し、193億2千5百万円となりました。

営業利益は、収益性の高いプロセス触媒が減少したため、前第3四半期に比べて15.4%減少し、19億4千万円となりました。

## ◎所在地別

(日本)

機能性化学品の販売数量の増加に加え、基礎化学品や環境・触媒事業も堅調に推移したことより、売上高は前第3四半期に比べて9.3%増加し、1,360億5千3百万円となりました。

営業利益は、増販効果があったものの、原料価格が高騰したことや設備の増強に伴い固定費が増加したため、前第3四半期に比べて20.7%減少し、123億円となりました。

(欧州)

高吸水性樹脂の販売が順調に推移したことにより、売上高は前第3四半期に比べて31.9%増加し、231億2千6百万円となりました。

営業利益は、増販効果や販売価格の是正があったものの、原料価格が高騰したことや設備の増強に伴い固定費が増加したため、前第3四半期に比べて55.1%減少し、8千2百万円となりました。

(アジア)

アクリル酸およびアクリル酸エステルは、市況が弱含みに推移したものの、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

また、高吸水性樹脂も販売数量が大幅に増加したことにより、売上高は前第3四半期に比べて16.5%増加し、225億8千6百万円となりました。

営業利益は、増販効果があったものの、原料価格が高騰するなか、アクリル酸およびアクリル酸エステルの市況が弱含みに推移したため、前第3四半期に比べて87.3%減少し、4億1千万円となりました。

(その他の地域)

高吸水性樹脂や洗剤原料などの機能性化学品の販売数量が増加したことにより、売上高は前第3四半期に比べて58.0%増加し、132億4千6百万円となりました。

営業利益は、原料価格が高騰するなか、増販効果や販売価格の是正により、前第3四半期に比べて大幅に改善しましたが、9千6百万円の赤字となりました。

## II 当第3四半期の財政状態

当第3四半期末における現金及び現金同等物は、設備投資などの投資活動によるキャッシュ・フローの支出が、営業活動によるキャッシュ・フローおよび借入れなどの財務活動によるキャッシュ・フローの収入を上回ったため、前期末に比べて42億6百万円減少の156億5千万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期の88億3千8百万円の収入に対し、64億9千2百万円の収入となりました。主に税金等調整前四半期純利益が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期の124億5百万円の支出に対し、179億3千6百万円の支出となりました。主に有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期の1億8千万円の収入に対し、71億8千7百万円の収入となりました。借入れによる収入が増加したことおよび借入金の返済額が減少したことなどによるものです。

以上

〔添付資料〕

## 1. 第3四半期連結財務諸表等

## (1) 要約連結貸借対照表

(単位 金額：百万円 構成比：%)

科 目	前第3四半期末 (H17.12.31)		当第3四半期末 (H18.12.31)		増 減	前連結会計年度末 (H18.3.31)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
[ 資 産 の 部 ]							
< 流 動 資 産 >	<129,908>	45.2	<139,268>	44.3	<9,360>	<125,914>	43.2
現金及び預金	22,165		15,814		△6,351	20,079	
受取手形及び売掛金	60,911		70,612		9,701	57,444	
たな卸資産	37,677		42,509		4,832	38,705	
その他	9,155		10,333		1,178	9,686	
< 固 定 資 産 >	<157,713>	54.8	<174,960>	55.7	<17,247>	<165,650>	56.8
有形固定資産	99,097		114,747		15,651	105,089	
無形固定資産	2,857		2,184		△673	2,595	
投資その他の資産	55,759		58,029		2,269	57,966	
資 産 合 計	287,621	100.0	314,228	100.0	26,607	291,564	100.0
[ 負 債 の 部 ]							
< 流 動 負 債 >	<80,761>	28.1	<91,945>	29.3	<11,184>	<80,707>	27.6
支払手形及び買掛金	43,819		50,878		7,059	40,143	
短期借入金	11,187		18,000		6,813	11,538	
1年以内に返済する 長期借入金	5,741		5,493		△247	5,317	
その他	20,015		17,574		△2,441	23,709	
< 固 定 負 債 >	<41,944>	14.6	<46,624>	14.8	<4,680>	<42,153>	14.5
社 債	5,000		5,000		—	5,000	
長期借入金	24,482		30,079		5,598	23,363	
その他	12,462		11,545		△918	13,790	
負 債 合 計	122,705	42.7	138,569	44.1	15,864	122,860	42.1
[ 少 数 株 主 持 分 ]							
< 少 数 株 主 持 分 >	<4,067>	1.4	<—>	—	<—>	<4,073>	1.4
[ 資 本 の 部 ]							
< 資 本 金 >	<16,529>	5.7	<—>	—	<—>	<16,529>	5.7
< 資 本 剰 余 金 >	<13,565>	4.7	<—>	—	<—>	<13,565>	4.7
< 利 益 剰 余 金 >	<122,869>	42.8	<—>	—	<—>	<125,684>	43.0
< その他有価証券 評価差額金 >	<11,470>	4.0	<—>	—	<—>	<12,259>	4.2
< 為 替 換 算 調 整 勘 定 >	<696>	0.2	<—>	—	<—>	<1,939>	0.7
< 自 己 株 式 >	<△4,280>	△1.5	<—>	—	<—>	<△5,346>	△1.8
資 本 合 計	160,850	55.9	—	—	—	164,631	56.5
負債、少数株主持分 及び資本合計	287,621	100.0	—	—	—	291,564	100.0
[ 純 資 産 の 部 ]							
< 株 主 資 本 >	<—>	—	<159,136>	50.7	<—>	<—>	—
資 本 金	—		16,529		—	—	
資 本 剰 余 金	—		13,567		—	—	
利 益 剰 余 金	—		137,146		—	—	
自 己 株 式	—		△8,106		—	—	
< 評 価 ・ 換 算 差 額 等 >	<—>	—	<12,300>	3.9	<—>	<—>	—
その他有価証券 評価差額金	—		9,130		—	—	
為 替 換 算 調 整 勘 定	—		3,170		—	—	
< 少 数 株 主 持 分 >	<—>	—	<4,223>	1.3	<—>	<—>	—
純 資 産 合 計	—	—	175,659	55.9	—	—	—
負債及び純資産合計	—	—	314,228	100.0	—	—	—

## (2) 要約連結損益計算書

(単位 金額：百万円 百分比：%)

科 目	期 別		前第3四半期 (H17. 4. 1~H17. 12. 31)		当第3四半期 (H18. 4. 1~H18. 12. 31)		増 減	前連結会計年度 (H17. 4. 1~H18. 3. 31)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比			
売上高	169,781	100.0	195,010	100.0	25,230		232,441	100.0	
売上原価	127,106	74.9	155,888	79.9	28,782		176,253	75.8	
売上総利益	42,675	25.1	39,122	20.1	△3,553		56,188	24.2	
販売費及び一般管理費	24,294	14.3	25,052	12.9	758		32,960	14.2	
営業利益	18,381	10.8	14,070	7.2	△4,311		23,228	10.0	
営業外収益	4,213	2.5	4,055	2.1	△158		6,173	2.6	
営業外費用	2,106	1.2	1,531	0.8	△576		3,254	1.4	
経常利益	20,487	12.1	16,594	8.5	△3,893		26,148	11.2	
税金等調整前四半期(当期)純利益	20,487	12.1	16,594	8.5	△3,893		26,148	11.2	
法人税等	6,806	4.1	5,694	2.9	△1,112		9,738	4.1	
少数株主利益	238	0.1	116	0.1	△122		153	0.1	
四半期(当期)純利益	13,443	7.9	10,785	5.5	△2,658		16,257	7.0	

## (3) 要約連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期 (H17. 4. 1～H17. 12. 31)	当第3四半期 (H18. 4. 1～H18. 12. 31)	前連結会計年度 (H17. 4. 1～H18. 3. 31)
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高		(13,565)	(-)	(13,565)
資本剰余金増加高		(0)	(-)	(0)
自己株式処分差益		0	-	0
資本剰余金四半期末(期末)残高		(13,565)	(-)	(13,565)
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高		(112,496)	(-)	(112,496)
利益剰余金増加高		(13,443)	(-)	(16,257)
四半期(当期)純利益		13,443	-	16,257
利益剰余金減少高		(3,070)	(-)	(3,070)
配当金		2,945	-	2,945
取締役及び監査役賞与		125	-	125
利益剰余金四半期末(期末)残高		(122,869)	(-)	(125,684)

## (4) 要約連結株主資本等変動計算書

当第3四半期 (H18. 4. 1~H18. 12. 31)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	16,529	13,565	125,684	△5,346	150,432
当第3四半期中の変動額					
剰余金の配当	—	—	△3,092	—	△3,092
四半期純利益	—	—	10,785	—	10,785
自己株式の取得	—	—	—	△2,763	△2,763
自己株式の処分	—	1	—	3	4
持分法適用関連会社の増加	—	—	3,771	—	3,771
株主資本以外の項目の 当第3四半期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
当第3四半期中の変動額合計	—	1	11,463	△2,760	8,704
平成18年12月31日残高	16,529	13,567	137,146	△8,106	159,136

(単位：百万円)

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	12,259	1,939	14,199	4,073	168,704
当第3四半期中の変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△3,092
四半期純利益	—	—	—	—	10,785
自己株式の取得	—	—	—	—	△2,763
自己株式の処分	—	—	—	—	4
持分法適用関連会社の増加	—	—	—	—	3,771
株主資本以外の項目の 当第3四半期中の変動額(純額)	△3,129	1,231	△1,898	149	△1,749
当第3四半期中の変動額合計	△3,129	1,231	△1,898	149	6,955
平成18年12月31日残高	9,130	3,170	12,300	4,223	175,659

## (5) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別 前第3四半期 (H17. 4. 1~H17. 12. 31)	当第3四半期 (H18. 4. 1~H18. 12. 31)	増 減	前連結会計年度 (H17. 4. 1~H18. 3. 31)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期（当期）純利益	20,487	16,594	△3,893	26,148
減 価 償 却 費	6,517	8,445	1,928	9,349
売上債権の減少額又は増加額（△）	△7,340	△12,963	△5,623	△3,646
たな卸資産の減少額又は増加額（△）	△7,226	△3,502	3,723	△8,012
仕入債務の増加額又は減少額（△）	6,643	10,298	3,655	2,719
そ の 他	△2,114	△5,084	△2,970	△355
小 計	16,968	13,789	△3,179	26,203
法人税等の支払額	△9,071	△8,254	816	△9,597
そ の 他	941	957	16	862
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,838	6,492	△2,346	17,468
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△14,195	△17,066	△2,871	△22,105
投資有価証券の取得による支出	△91	△1,386	△1,295	△832
出資金の出資等による支出	△177	△409	△231	△185
出資金の回収等による収入	—	330	330	—
貸付けによる支出	△155	△50	105	△215
貸付金の回収による収入	983	845	△138	1,375
そ の 他	1,231	△200	△1,431	1,299
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,405	△17,936	△5,531	△20,663
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額	4,141	6,444	2,303	4,448
長期借入れによる収入	7,489	10,600	3,111	7,609
長期借入金の返済による支出	△6,713	△3,992	2,721	△8,815
配当金の支払額	△2,945	△3,092	△147	△2,945
自己株式の取得による支出	△1,777	△2,763	△986	△2,843
そ の 他	△15	△11	5	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	180	7,187	7,007	△2,562
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	583	52	△531	866
V. 現金及び現金同等物の増減額	△2,805	△4,206	△1,401	△4,891
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	24,160	19,856	△4,304	24,160
VII. 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	587	—	△587	587
VIII. 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	21,942	15,650	△6,293	19,856

## 2. セグメント情報

### (1) 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	基礎 化学品	機能性 化学品	環境・ 触媒	合計	消去又 は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	69,429	84,673	15,679	169,781	—	169,781
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,967	327	1,021	13,315	(13,315)	—
計	81,396	85,000	16,700	183,096	(13,315)	169,781
営業費用	72,076	77,891	14,406	164,374	(12,974)	151,400
営業利益	9,319	7,109	2,294	18,722	(341)	18,381

当第3四半期（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	基礎 化学品	機能性 化学品	環境・ 触媒	合計	消去又 は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	72,771	102,914	19,325	195,010	—	195,010
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,392	601	1,489	17,481	(17,481)	—
計	88,163	103,515	20,814	212,492	(17,481)	195,010
営業費用	84,184	95,503	18,873	198,561	(17,620)	180,940
営業利益	3,979	8,012	1,940	13,931	139	14,070

前連結会計年度（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	基礎 化学品	機能性 化学品	環境・ 触媒	合計	消去又 は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	94,095	116,300	22,046	232,441	—	232,441
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,063	460	1,302	18,825	(18,825)	—
計	111,158	116,760	23,348	251,266	(18,825)	232,441
営業費用	100,000	107,498	20,226	227,724	(18,511)	209,213
営業利益	11,158	9,262	3,123	23,542	(314)	23,228

(注) 1. 事業区分は、事業の種類・性質の類似性等を勘案して決定しております。

2. 各事業区分の主な製品

- |             |  |
|-------------|--|
| (1)基礎化学品事業  | アクリル酸、アクリル酸エステル、酸化エチレン、エチレングリコール、エタノールアミン、高級アルコール                                  |
| (2)機能性化学品事業 | 高吸水性樹脂、医薬中間原料、コンクリート混和剤用ポリマー、電子情報材料、よう素、無水マレイン酸、不飽和ポリエステル樹脂、粘接着剤・塗料用樹脂、樹脂成形品、粘着加工品 |
| (3)環境・触媒事業  | 自動車触媒、脱硝触媒、ダイオキシン類分解触媒、プロセス触媒、排ガス処理装置  |

## (2) 所在地別セグメント情報

前第3四半期(平成17年4月1日～平成17年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア	その他の地域	合計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	124,468	17,535	19,394	8,384	169,781	—	169,781
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	13,502	43	792	60	14,397	(14,397)	—
計	137,970	17,578	20,186	8,444	184,178	(14,397)	169,781
営業費用	122,452	17,395	16,952	9,280	166,080	(14,680)	151,400
営業利益又は営業損失(△)	15,518	183	3,234	△837	18,098	283	18,381

当第3四半期(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア	その他の地域	合計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	136,053	23,126	22,586	13,246	195,010	—	195,010
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	15,575	54	590	43	16,262	(16,262)	—
計	151,628	23,180	23,176	13,289	211,272	(16,262)	195,010
営業費用	139,327	23,098	22,765	13,384	198,576	(17,635)	180,940
営業利益又は営業損失(△)	12,300	82	410	△96	12,697	1,373	14,070

前連結会計年度(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア	その他の地域	合計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	168,773	23,935	27,405	12,329	232,441	—	232,441
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	19,061	61	935	81	20,137	(20,137)	—
計	187,834	23,996	28,339	12,409	252,578	(20,137)	232,441
営業費用	167,483	23,789	24,676	13,727	229,676	(20,463)	209,213
営業利益又は営業損失(△)	20,350	207	3,663	△1,318	22,902	326	23,228

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
(1) 欧州 ……………ベルギー  
(2) アジア ……………シンガポール、インドネシア、中国  
(3) その他の地域 北米……米国

## (3) 海外売上高

前第3四半期 (平成17年4月1日～平成17年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	34,578	23,201	13,395	5,148	76,322
II 連結売上高					169,781
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	20.4%	13.7%	7.9%	3.0%	45.0%

当第3四半期 (平成18年4月1日～平成18年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	37,015	30,052	16,926	6,832	90,826
II 連結売上高					195,010
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	19.0%	15.4%	8.7%	3.5%	46.6%

前連結会計年度 (平成17年4月1日～平成18年3月31日) (単位:百万円)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	48,385	32,788	18,623	6,958	106,754
II 連結売上高					232,441
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	20.8%	14.1%	8.0%	3.0%	45.9%

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
- (1) アジア 東アジア及び東南アジア諸国
  - (2) 欧州 ヨーロッパ諸国
  - (3) 北米 北アメリカ諸国
  - (4) その他の地域 アジア、欧州、北米及び本邦を除く国又は地域
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計金額であります。